

きいて・めもして・こたえよう

バスの うんてんしゅさんの はなし

なまえ _____

きくめあて 「^き気をつけて いる こと」を おとさずに ききましょ
う。

^{いち}一ばん ^き気をつける こと

はっしやの とき

^{あさ}朝 する こと

ほうそうが おわったら、ひらいて もんだいに こたえましょう。

(1) うんてんしゅさんが ^{いち}一ばん ^き気をつけて いる ことは、なんですか。

(2) はっしやする ときは、どう しますか。あう ものに ○を つけましょう。
ア 「はっしやします」と こえを かける

イ だまって うごく

ウ クラクションを ならす

(3) まい朝^{あさ}、うんてんの まえに てんけんする ものは、なんですか。あう ものに ○を つけま
しょう。

ア タイヤや ブレーキ

イ まどガラス

ウ いす

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声を流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

バスの うんてんしゅさんに、おはなしを ききました。

「わたしが 一ばん 気を つけて いるのは、あんぜんです。バスでいに とまる
ときは、お年よりや 小さな 子が いないか、よく 見て います。」

「はっしゃする ときは、『はっしゃします』と こえを かけます。おきやくさんが
せきに すわってから うごきだします。」

「まい朝、うんてんの まえに、タイヤや ブレーキを てんけんして、こしょうが
ないか しらべて います。」

メモのれい

一ばん あんぜん（お年より・小さな子を 見る）

はっしゃ → こえかけ・すわってから

朝 タイヤ・ブレーキてんけん

こたえと かいせつ

（1）あんぜん

「一ばん 気を つけて いるのは、あんぜんです」と いって いました。

（2）ア

「『はっしゃします』と こえを かけます」と いって いました。

（3）ア（タイヤや ブレーキ）

「タイヤや ブレーキを てんけんして、こしょうが ないか しらべて い
ます」の ところです。